

第62回東京矯正管区教諭師研修東京大会 (JK A競輪補助事業)

令和元年 6月 5日(水)～ 6日(木) 開催

基調講演

演 題 「矯正の現状」
講 師 東京矯正管区長

島 孝 一 氏

パネルディスカッション

演 題 「教諭師に求められること」

パネラー

多摩少年院所属教諭師

佐 藤 秀 仁

愛光女子学園所属教諭師

喜代多 證 顯

府中刑務所教育専門官

谷 澤 正 次 氏

グループディスカッション

テーマ 「教諭師に求められること」

(矯正施設職員を含めたグループディスカッション)

記念講演

演 題 「犯罪心理学とプロファイリング」

講 師 社会犯罪学者

北 芝 健 氏

研修の成果

本大会においては、昨今の社会情勢と矯正の現状を踏まえた上で、教諭師に求められることを参加者全員で追及・検討するために、統一テーマ「教諭師に求められること」のもとパネルディスカッションとグループディスカッションを組み合わせ、教諭師と矯正施設職員が一体となって討論することを試みた。

特に、グループディスカッションについては十分に討議ができるよう時間配分を調整し、そのグループ編成に当たっては、教諭師の教宗派の偏り及び施設職員の所属施設や役職に偏りが出ないように、細心の注意を払って準備した結果、アンケートにおいては、その結果に満足を表明する意見が多数得られた。

参加者相互の交流が深まり、教諭師相互及び教諭師と矯正施設職員がこれからの教諭と教諭師に求められることを共に考え、互いの想いを分かち合えたという手応えを得られた研修会であった。



研修場面

○ 挨拶 東京矯正管区長 島 耕一 氏



○ パネルディスカッション



○ グループ討議



○ 質疑応答

